

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	域産域消 事業者活動支援事業	会計	一般会計	事業No.	404	施策順No.	13-002
		事業種別	政策・重点	予算科目	6-1-3-28-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	農業課		
施策	13 地域内産業の多様な連携			事業期間	開始	18	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	①農産物生産者 ②農産物小売販売店、飲食店 ③ホテル・旅館 ④食品製造事業者						A十分達成した Bどちらかといえは達成した Cどちらかといえはできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		小売販売店・飲食店数(件) ※商業統計調査	1268	1268	1268	1268	1268	
	意図	①安全性の高い農産物を生産供給してもらう。 ②地元農産物に付加価値をつけて販売してもらう。 ③飲食店等で地元農産物を使った献立を増やしてもらう。 ④地域農産物を加工原料に利用してもらう						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	新たに生産者、小売と結びつきを持った活動を始めた店舗数(店)	3	3	5	5	5	5	A
	新たに生産者、食品事業者の連携事業で生まれた商品数	3	2	2	2	2	2	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	「域産域消」は、飯田市食育推進計画の中にも位置付けられており、保健課が計画した「食育協力店」と農業課が計画した「域産域消の推奨店」との考え方をすり合わせを行い、「域産域消の食育店」として一緒に活動を実施。調整に時間を要したが、事業効果が高まるように両課が協力して推進することが出来た。							

2 手段(具体的な取組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	農畜産物の生産者、飲食店、ホテル、直売所など地場産業を担う農商業者が連携して、生活者へ南信州の食材を直接アピールすることにより、食の域産域消活動を推進させる。特に、生活者への提案力に優れている飲食業者の活動を支援することにより、生活者参加型の域産域消活動に展開を図る。併せて、保健課が展開する食育推進活動とも連携し、相互の事業目的が達成できるように推進する。 ※保健課:食育協力店と共に取り組む啓発活動		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 飲食店等での地元農産物を活用したメニュー作りのための接点づくり 飲食店等と生産者による合同商談会の実施 2 地場産農作物を販売している直売所の聴き取り調査の実施 (1)インショップ小売業者や産直店舗との意見交換会 (2)市内の全直売所を対象とした「まち・むら結いの市」(7~11月)の見直し検討 3 生産者と消費者を結ぶ事業を展開している飲食店を市民に情報提供し、消費者意識の高揚を図る 域産域消の食育店(モデル店舗)の認定…事業構築と展開費用 355千円 独自の域産域消事業を展開している飲食店や小売店を募り、その事業を市民(消費者)へ広報。 4 農業者と食品事業者を結ぶ取り組みへの支援 地元農産物を原料利用した新たな加工品開発	1 合同商談会開催回数 2(1) 意見交換会 (2) 結いの市開催回数 3 域産域消の食育店 参画飲食店 事業費用 4 支援事業数	1 2回 2(1) 3回 (2) 11回 3 5店舗 355千円 4 1事業 2品
23年度実施計画	飯田市・食の域産域消活動推進協議会(仮)を設立し、関係機関と協力をしながら事業を推進する。 H22年度に保健課と実施したモデル事業を検証しつつ、H23年度は飯田市オリジナルの域産域消推奨店の認定制度を確立する。 域産域消推奨店、「地場産食堂.net」(仮)認定制度の実施。 1 制度に係る実施要綱の作成 2 域産域消推奨店(飲食店)の募集、選定 3 オリジナル看板の設置 4 域産域消推奨店、「地場産食堂.net」(仮)のPRリーフレットの作成 5 域産域消推奨店、「地場産食堂.net」の宣伝広告 地元情報誌への特集掲載※保健課の食育HPを活用 6 域産域消の食育店、「地場産食堂.net」の協力により実施する生活者参加型イベントの開催 7 農業者が域産域消の食育店と協働で取り組む域産域消PR活動への支援	域産域消の食育店 参画飲食店 事業費用	8店舗 500千円

3 事業コスト

事業費	(千円)				特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	
	県支出金				
	起債				
	その他				
一般財源	500	355	500		
計(A)	500	355	500		
正規職員所要時間		200			
臨時職員等所要時間					
人件費計(B)		715			
トータルコスト A+B		1,070			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> 地元農産物がどの店で、どこに売られているか、一目でわかった方がいい。 ホテルや旅館、飲食店で地元特産品を使った料理を提供したい。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域内産業が、多様な連携により新たな経済活動を創出する。	施策の成果指標又はムツ指標	事業者と連携して取り組んでいる活動数
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	生産者、小売販売店、飲食店、ホテル、食品製造事業者の方が繋がるきっかけを作ることにより、地元農産物にこだわった飲食店が誕生したり、域産域消を売りにした店舗づくりや商品開発がスタートしている。前期の取り組みにより、地域内の多様な事業者による連携が生まれ、新たな経済活動に繋がってきた。		
	後期に向けた課題	域産域消の活動をさらに、事業者へ繋いでいくと共に、関係者の努力が報われるように広く市民へPRしていくことが重要。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	関係者が得意な部分で協力してもらえるように細かな調整に配慮してきた。特に関係者の意見交換の場は重要であり、そこから新規の取り組みが生まれてきた。		
	後期に向けた課題	前期では、モデル的な取り組みとして数店舗に絞って事業を推進してきたが、後期では広く展開するために参加事業者を増やすための商談会等を定期的に開催することが必要。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	当初はゼロ予算で始めた事業であり、関係者間で調整する段階では予算をかけないで実施してきた。22年度については、市民へのPRに関して予算の範囲内で効果が上がるように実施した。		
	後期に向けた課題	事業者にもPR活動等に協力してもらいながら、部分的に費用を負担してもらった仕組みを検討する。また、地元のメディアにも協力してもらい、費用をかけないPR方法も検討する。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	前期については、事業者が活動経費を負担しながら生産者訪問や商品開発を実施しており、市はPRイベントや広報活動に費用を使っており、受益者負担の程度は適切であった。		
	後期に向けた課題	後期についても、役割分担をする中で、適切な受益者負担と市の関与を行っていく必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	生産者と事業者がそれぞれの得意な部分で協力をしあい、異業者間の交流の中で「域産域消」の動きが生まれてきた。また、行政は橋渡しを行う機関として、黒子的な役割を担ってきた。		
	後期に向けた課題	域産域消の活動が市民へ広く伝わるように、行政は継続的に関係者間を繋げていく必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	多様な主体を繋げるには、単年度での取り組みでは成果は現れにくいですが、継続することにより意識の共有が図られ、結果的に新たな「域産域消」活動に繋がってきている。小さな取り組みでも目に見える形となると多くの人に伝わりやすくなるため、「見える化」していることが行政の役割の一つである。		
	後期に向けた課題	震災以降、地域の経済情勢がさらに厳しくなっていくことが想定されるので、事業者が「域産域消」活動に取り組むことで、経営的にも効果が出るように配慮して行く必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--